個別支援計画の実施状況の確認及びモニタリングについて

10月度中旬、例年通り個別支援計画の実施状況の確認及びモニタリングを実施いたしました。 今回より、直接利用者 本人からもアセスメントを含めたモニタリングを行わせて頂きました。 これは、1年間通して支援を行なってきた実績により本人でも充分に判断できることが認められた 為です。もちろん、今まで通りご家族から意見をいただくことも継続しておこなっていきます。

今回の面談について、状況をご報告をさせていただきます。 昨年と比較して利用者本人の状態や動向を把握することができていること。 その為、より具体的な支援が可能になってきていることを 本人及びご家族にお話させて頂きました。 その上で次のような意見をいただきました。

- ・野いちごへ行くことが楽しくて休みたいと言わない。
- ・現在、生活が安定しているので現状を維持して欲しい。
- ・作業が楽しい

.

しかし、そのような状況の中でも本人から特別な意向や意見を伺うのはたいへん難しいことです。

御家族においても、同様に具体的な意見や意向は伺うことができませんでした。 ほとんどの御家族が、現状を維持して欲しいという意見が多く それは、現在の支援に概ね満足しているというような楽観的な捉え方も出来ますが 利用者本人または御家族から、潜在的なニーズを聞き出すことができていない、 聞き出す努力がまだまだ足りないというように捉えることが賢明と考えます。

今後は、本人や御家族と情報交換や交流を密にして対話の中から将来の本人なりの自立に 繋がる支援に活かしていきたいと思います。

